

島嶼における自然災害と地域社会：奄美大島住用地区の事例を中心に

著者	孟 憲晨
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲人社研第23号
URL	http://hdl.handle.net/10232/21598

平成26年7月19日

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科長 殿

最終試験の概要及び結果報告書

地域政策科学専攻 氏名 孟 憲晨

学位論文題目

島嶼における自然災害と地域社会—奄美大島住用地区の事例を中心に—

(Natural Disasters and Regional Society in Islands—A case of Sumiyō district in Amami Ōshima)

最終試験の概要

学位(博士)論文に関する最終試験を平成26年7月19日に実施した。まず、申請者による学位申請論文の内容説明の後、下記4名の審査委員から論文内容に関しての質疑と、申請者による応答を行った。

申請者の論文は、島嶼社会における自然災害と地域社会の問題について、具体的には、2010年の奄美豪雨災害に見舞われた奄美市住用町(旧住用村)を対象に、過疎高齢化の著しい地域における災害時と災害後の支援者と被支援者の関係について、防災の人類学的視点から考察した事例研究である。

最終試験では、まず、先行研究における論文の位置づけや問題設定、災害史実の整理が妥当なものとして評価された。また、最も高い評価を得たのが、申請者が奄美市住用地区の14の全集落で行った現地調査により得られた一次資料や各種の二次資料の人類学的価値と、その理論的考察であった。

その一方で、自然災害における島嶼特有の問題とは何かといった点や、「防災の人類学的研究」といったときの「人類学的研究とは何か」といった本質的な問題については曖昧さが残ったため、委員から質問がなされたが、これらに対しては一定の水準を満たす回答が得られた。

以上により、博士(学術)の学位を与えるに十分な学力と見識を有するものと認定した。

授与する博士学位 学術

最終試験結果 合格

試験委員

主査 (氏名) 梁原季雄

副査 (氏名) 平井一臣

副査 (氏名) 長嶋俊介

副査 (氏名) 林 勲

副査 (氏名) 印